

収集運搬事業

1.取り扱う廃棄物の種類

汚泥、廃油、廃酸、灰アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類

2.予定計画運搬量

廃油	1t/年	廃プラスチック	150t/年
汚泥	2t/年	紙くず	500t/年
木くず	50t/年	金属くず	60t/年
ガラスくず	120t/年	-	-

3.取り扱う容器の種類

コンテナ(4m)、ドラム缶(20リットル)、ポリ容器(20リットル)、フレコンバック(1m³) 等

4.車両の用途

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて、適切な車両を使用し、収集運搬車両排ガス対策や大型車の飛散防止車を導入している。

5.事業体制

業務時間 原則1:30~9:00/7:00~14:30 **休業日** 週1日、日曜日

6.安全管理

出庫前・帰庫後のアルコール検出機によるチェック

出庫前の血圧チェック

デジタルタコグラフによる運転技術管理

交通安全講習会の定期開催による事故防止の徹底

7.環境保全措置

①収集運搬

+ 飛散・流出対策

運搬中の荷崩れによる廃棄物の飛散・流出・漏れを防止する為、シート及びロープ掛けを確実にを行う。

+ 毎日の洗車を徹底し、車両を清潔に臭いの出ないようにする、臭いのスプレーを洗車の後に撒く。

②積替え・保管施設

+ 飛散・流出対策

取り扱う産業廃棄物の種類、品目、形状に応じて適切な車両及び容器を使用して、廃棄物の飛散・流出・漏れを防止する。

+ 悪臭対策

少しでも悪臭がある場合には臭いのスプレーを撒く。

+ 掃除の徹底

毎日の掃除できれいに保つ。